

株式会社麻生 飯塚病院
株式会社LSIメディエンス

検体検査品質カイゼンに関わる連携協定を締結

株式会社麻生 飯塚病院(住所：福岡県飯塚市芳雄町 3-83、院長：増本 陽秀、以下「飯塚病院」)と株式会社LSIメディエンス(本社：東京都千代田区内神田 1-13-4、代表取締役社長：渡部 晴夫、以下「LSIM」)は、検体検査に関わる品質マネジメントの強化を目的とした連携協定を10月1日に締結いたしましたのでお知らせします。

検体検査において、臨床検査技師が正確な検査データを臨床へ報告するためには、日常の精度管理と品質マネジメントが重要なファクターとなっております。特に検体の受領から報告するまでの工程を管理する品質マネジメントにおいては、常に検査現場でのカイゼン活動を行い、検査の質を担保することが臨床検査技師に課せられた使命の一つです。

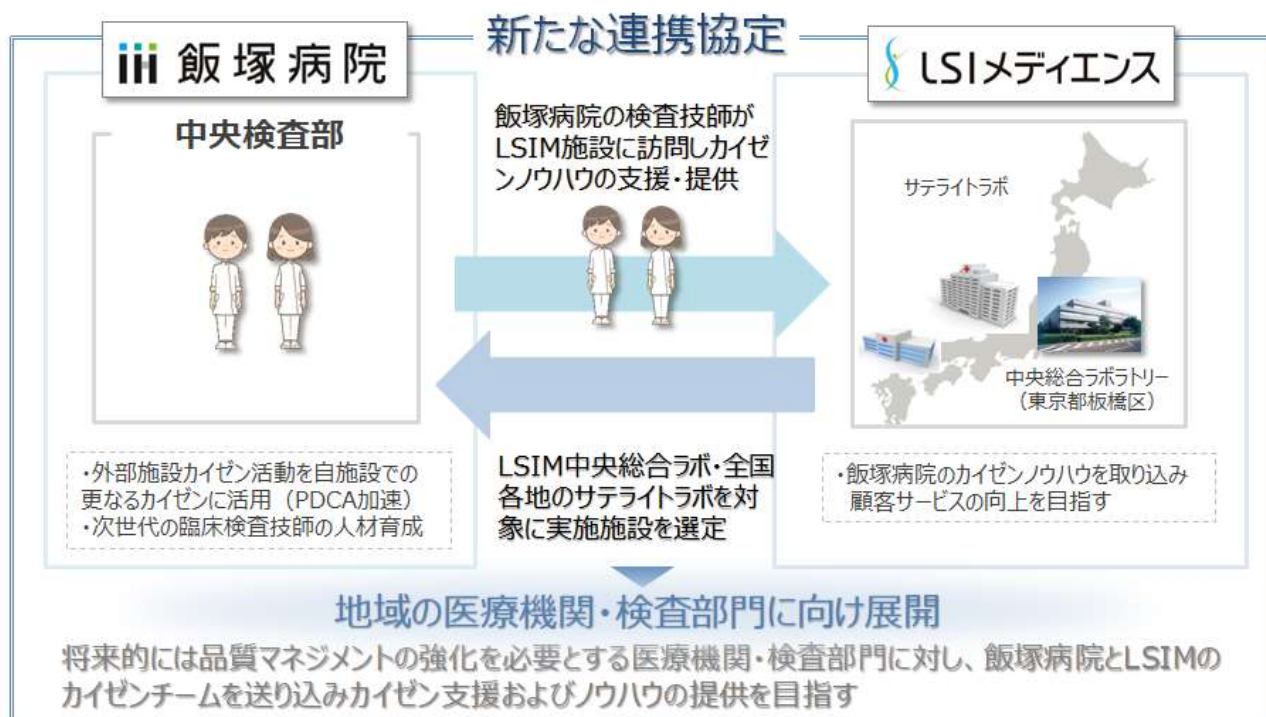
飯塚病院中央検査部は品質マネジメントであるTQMやISOを全国に先駆けて病院に導入し、継続したカイゼン活動を行い、常に世界水準の臨床検査室として機能することを目指しております。

一方、LSIMは民間検査機関として徹底した品質マネジメントを行い、顧客視点に立ったサービスの提供を目指しております。

今般の連携では、まず、LSIMの中央総合ラボ及び西日本を中心としたサテライトラボのマネジメントに関して、飯塚病院が有する「カイゼン」ノウハウを組み込むことを検討いたします。更に、LSIMの産学連携組織である、つくばi-ラボラトリーが手掛けるISO15189認定取得支援事業との連携、及びLSIMが手掛けている医療施設に対する検査室運営支援サービスや品質カイゼンプログラムを必要に応じて協働で実施していくことを検討して参ります。

この取り組みは、LSIMには、臨床検査の受託に関して、顧客である病院側の視点に立脚した検査室マネジメントニーズの一層の理解につながり、全国の医療施設の期待に応える品質やサービスの強化に資するものと考えています。また、飯塚病院中央検査部としては、LSIMの持つフィールドを活用することにより、ノウハウを有する自施設の検査技術者の活躍の場を広げるとともに、モチベーションの向上と今後の人材育成体制の充実化にも寄与するものと考えています。

飯塚病院とLSIMは、今回の連携を起点として、単なる検体検査受委託関係を超え、双方の課題解決はもとより、全国の医療施設における臨床検査部門運営に対する提言活動を可能とする体制作り・連携強化策を検討・実施して参ります。



<株式会社麻生 飯塚病院について>

株式会社麻生 飯塚病院は、福岡県飯塚市で1918年に診療を開始し、創立から100周年を経た病院です。経営理念に「WE DELIVER THE BEST ～まごころ医療、まごころサービス それが私たちの目標です～」を掲げており、病床数1,048床（うち一般978床、精神70床）、診療科目44科を有する総合病院です。2020年8月現在の職員数は2,489人（うち医師339人、看護師1,076人、医療技術者576人、事務・その他498人）です。

<株式会社LSIメディエンスについて>

株式会社LSIメディエンスは、1975年に設立され、「臨床検査事業」、「診断薬事業」、「創薬支援事業」を主要事業として、多様な検査領域で長きにわたり培ってきた分析力をコアに、検査結果の解析力を加え、新しいソリューションの創出を目指しています。病気の予防・早期発見、治療に貢献し、個別化医療などの次世代医療を支える取り組みも積極的に行っております。2019年度の売上高は895億円、従業員数は約3,600人です。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社麻生 飯塚病院 経営管理部 広報課

TEL：0948-29-8892

E-Mail：kouhou@aih-net.com

株式会社LSIメディエンス 総務・法務・知財部 広報担当

TEL：03-6896-8926

E-Mail：NPA-LSIM-PR@nm.medience.co.jp

以上